

## 訃 報 — 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

渡辺亜紀夫 殿（建設部門、総合技術監理部門）

平成 20 年 8 月 31 日ご逝去 66 歳

齋藤 昭 殿（農業部門）

平成 20 年 11 月 8 日ご逝去 81 歳

青木 弘 殿（建設部門）

平成 21 年 1 月 18 日ご逝去 75 歳

前 ㈲日本技術士会 北海道支部長

## ■ ■ ■ 編 集 後 記 ■ ■ ■

本号の「年頭所感」や「巻頭言」でもいわれていますが、未曾有の経済危機と騒がれて 2009 年が明けました。それだけでなく公共事業を主業務にしている土木・建築関係の企業は、この前の行財政改革で事業削減されてのダブルパンチですから大変だと思います。

最近の免疫学の研究に「拒絶」というもののほかに「寛容」というのがあることを、ある本で読みました。免疫の働きは、ウイルスなどの非自己を拒絶することにあるのですが、これとは別に共存する寛容の働きもあるということです。この最たるものが、女性の出産だそうです。遺伝子学でいうと胎児は、母親の体にとって自己でないにも関わらず拒絶しません。これは寛容という働きが母親の免疫にあるからだそうです。これを現在の経済危機に対処する方法として応用できないでしょうか。

現在の状況に対して拒絶や抵抗するのではなく、まず寛容して受け入れる。それから、現状の問題を寛容しながら対策を練る。共存するという考えです。

本号では技術士会が主催した会議等について多く報告され、現在の不況の中でも元気の技術士会が見られます。さらなる発展を期待したいと思います。本年も会員の皆様方にとって、よい年になることを祈念いたします。

（第 117 号 編集担当 日下部祐基）